

【新会員紹介】
島に生まれてよかった。
三光汽船(株) 香川理人氏



今月の見どころ

INDEX

10月の尾道支部は、経営フォーラムの分科会を担当し、三原支部との合同例会を開催しました。経営フォーラムでの安達氏の報告要旨は来月の同友ひろしま 12月20日号に掲載されます。三原支部との合同例会のねらいは連携を視野に「尾道・三原の両支部が合同で活動することのメリットを探る」でした。また、山本氏、林氏の両前支部長の経験と知識を共有することで。グループ討論は「あなたにとっての地域連携（人とのつながり）とは？」のテーマで行いました。同友会を通じた人とのつながりによる成長を予感できた合同例会になりました。

- P2,3……支部例会
- P4……新会員紹介
- P5……経営労働委員会、青年部会
- P6……支部理事会報告
- P7……行事案内

三原支部との合同例会

「楽しく学ぶ！地域連携の未来」～共に学び、成長し続けよう！～

報告者

(株)山本屋 代表取締役社長 山本 浩矢 氏 (前尾道支部長)
三平商事(有) 代表取締役社長 林 大作 氏 (前三原支部長)

■日程：2024年10月28日(月) 19:00～21:00

■会場：三原国際ホテル

高校時代、三原は憧れの街でした。三原は、高校3年間通った今も好きな思い出深い街なので、例会を心待ちにしていました。この度の例会は、三原を会場にした尾道支部と三原支部の合同例会となり、尾道、三原のみならず県内からも多くの同友会会員の参加がありました。

尾道支部から前支部長の山本浩矢さん、三原支部から前支部長の林大作さんからの報告が行われました。尾道支部の担当委員会委員長の九十九さんがファシリテーターを務め、パネルディスカッションが行われました。

山本さんと林さんに共通しているのは、人柄の良さでした。経営者として大切なものを守りながら、沢山の社員さんたちがその人柄に惹かれ、会社経営の手助けをしている姿が目に見えました。やはりリーダーたる人の魅力がそれぞれの会社や団体のモチベーションそのものを作り上げていることをあらためて感じさせられる例会でした。

例会後、懇親会が開催されました。100名近くの同友会会員が参加し、経営談議に花を咲かせ、遅くまで大いに盛り上がりました。

準備から当日の運営に至るまで尽力された九十九委員長、本当にお疲れさまでした。今回、担当委員会に所属しているにも関わらず、何もお役に立てなかった私が言うのもおこがましいのですが、九十九委員長、ぜひまた、他支部と合同委員会やりましょう。

NPO 法人シネマ尾道 代表理事 河本 清順



例会報告者への感想、フィードバック

10月合同例会の尾道支部からの参加者は38名でした。そのうち、15名の方から回答をいただきました！ご協力、ありがとうございました。

- お二人の歴史が知れてよかったです！
- ありがとうございました！同友会の活用、何のために入会しているのかを思い出されました。
- とても良いお話を聞かせて頂きました
- とても貴重な経験、お話がきけてとてもためになりました。
- 山本屋さんの人と上手に関わりながら成功への道を歩き続けている話し、失敗談を交えながら面白かったです。後に続く様に自社も頑張ろうと思います！
あと、林さんの使えない人はいないが使えない社長と会社がある。という言葉、とても耳に残りました。
- 色々な役をする事で得るものが増え、会社が良くなっていったんだろうなと感じました。
- まだまだ話したいことはたくさんあったと思います。お二人の良さを全て出しきれず申し訳ありません。人とのつながりがテーマの報告でしたが、素晴らしい報告ありがとうございました。
- もう少し内容を詰めておけば良かったです
- とてもアットホームな雰囲気、M&Aの可能性のお話しも聞けて良かったです。
- 山本さんも林さんも、穏やかな人柄なので報告がずっと入ってきて聞きやすかったです。
- 報告の中であった、同友会に参加し、相談、切磋琢磨できる仲間を作る事。例会に参加するだけでなく、次の日に自社で実践に移すことが重要であることを再確認できました。またグループ討論では、地域連携についてという議題でしたが、肩ひじ張って地域連携について深く考えなくても、堅実に社業に従事し、納税であったり、雇用を生み出していることが、自然と地域連携につながっているのではないかという、先輩会員の言葉が腑に落ちました。
- 山本さん、林さんの人となりから、会社の今についての話が聞けてとてもよかったです。同友会を活用されていることが良く分かったと思います。
- 同じ質問でも、二人の報告がそれぞれ違い、(もちろん業種も違うので)お得感のある例会だったと思います。同友会に入っていなければ出来なかったこと、
- 仲間が出来て良かったこと、自身も同じことを感じました。もっと同友会を活用していこうと思えた例会でした。
- 今までの話をいろいろしていただき、経営には紆余曲折があるが挑戦することで新しいものが見えてくることも感じました。
- 山本さんに調和、林さんに個性を感じ、それぞれ違う思いで経営しつつ同友会でメンターを見つけ、成長している姿に触発されました。他支部等の例会にも参加してみることが有意義かもしれないと感じています。



島に生まれてよかった。

三光汽船(株) 香川 理人 氏



自己紹介をお願いします。

1991年9月生まれの33歳です。因島高校を卒業するまで生口島で育ち、高校卒業後は広島大学に進学しました。大学時代、インドネシアでのボランティア活動をきっかけに、交換留学生としてインドネシア留学した経験が大きな財産となっています。留学から帰国したのが4年時の冬、急いで就活をして当時は何か人の役に立つ仕事がしたいと思って、大学卒業後は広島市内の医療機器メーカーに就職しました。多忙な日々でしたが、患者様のご存命数が営業成績に繋がる違和感から充実感を得られず、自分のやりたいことと違うと思い退職しました。

三光汽船へ入社したきっかけは、島々の風景や島ならではの雰囲気が好きだったからです。学生時代は船に乗ることなど夢にも思っていませんでしたが、父に相談し三光汽船に入社しました。船舶免許が必要なので、尾道海技学院に通いながら資格取得のため三光汽船を一旦離れ、一般のタンカー船で実務経験を積み機関士の資格を取得しました。三光汽船へ戻ったあとは船のメンテナンス業務や操船技術を身につけ、3年前に航海資格を取得し、今は船の操船をしています。今後は会社経営について学んでいくところです。仕事を通じて、お客様がクルージング体験などで喜ぶ姿や笑顔を見ると、地元に戻ってこの仕事をやって良かったと感じ、同時にこの島に生まれてよかったと思います。

会社紹介をお願いします。

三光汽船(株)では、生口島と因島、生口島と岩城島を結ぶ2つの航路があります。島と島をつなぎ、通勤や通学など、地域の人たちの生活の足として定期船を運航しています。因島との航路は平日のみ運航しており、岩城島への航路は2年前まで年中無休で運航していました。2022年に開通した岩城橋の影響で利用客が減少したことを踏まえて今年から年末年始を運休するなど、ダイヤ改正行いました。創業は祖父で、今は父が2代目です。最初は小さな船を使って近隣の島々を行き来しながら造船関係の人と物を運んでいたと聞いています。徐々に船が大きくなり、今では車が乗れるカーフェリーが主流になっています。

仕事のこだわりを教えてください。

三光汽船は公共交通機関であり、“安全第一”を念頭に自分たちで取り組める安全活動と取り組みは何かを考えています。毎年、海上合同操練という訓練を主催しており、地域住民や船舶関係者並びに海上保安庁の方を交えて、テロ対策訓練や車両火災訓練、旅客フェリー事故対策訓練といった実際の事故や災害が起きた時のケースに備えた訓練を行います。合同操練を通して、ご利用するお客様から三光汽船なら安心だね、と思っただけです。また、公共交通機関で働く一員として、安全に運航するため自己管理から気象情報の確認は欠かせません。海上運送はインフラの役割を担っているため常に責任の重さを持って働いています。ただそればかりだと疲れるところもあるので、仕事の中でもやっぱり楽しいことを探していますし、目の前に置かれたものを一生懸命考えることも大事にしています。

今後の夢を教えてください。

船を使ったイベントを増やして収益化させたいと思っています。正直、定期航路だけでは会社の先が見えてしまうので、定期航路以外で収益化ができる事業を模索しなければいけません。瀬戸内の島々を回るクルージングや、船上パーティができるフェリーは少ないので、認知していただき利用してもらいたいです。最終的に地元の方々や観光客の心を掴める旅客船を目指していきたいです。



経営労働委員会

10月勉強会 「損益計算書の活用方法」

報告者 池永経営会計事務所 鉄本 一生 氏(中小企業診断士)

■とき：2024年10月8日(火) ■会場：尾道市役所及び Zoom



10月8日に尾道市役所で、池永経営会計税理士法人の鉄本一生先生を講師として迎え「損益計算書の活用方法」についての勉強会をして頂きました。

粗利益とは？損益分岐点を抑えるという事をポイントに、どれが固定費でどれが変動費かをしっかり理解して、売上で変動する経費を抑えておく事を学びました。

僕は初めて参加させていただきましたが、損益分岐点を理解する為の分かりやすい計算例を教えて下さったり、物価高の世の中でこういった戦略を立てたら良いのか分かりやすく教えて下さりととても学びになる勉強会でした。

鉄本先生ありがとうございました！

(有) 浜中商店 濱中 泰希



青年部会

10月例会 むつきと共に歩む軌跡 ～自己成長と決意の変動～

報告者 (株) むつき 代表取締役 山口 幸洋 氏

■とき：2024年10月24日(木) ■会場：工房おのみち帆布

10月24日(火) 青年部 10月例会で株式会社むつきの山口幸洋氏に報告をしていただきました。

社名むつきの由来は、亡き息子の名前。ビジョンは、自分の経験を生かした、親子が笑い合える産前・産後サポートができる治療院をすることだ。

現在、訪問出張型の整体を主体とした事業をしており、悩みに悩んでいた時に同友会のメンバーの方々に「自己開示」をし、窮地を脱した体験を聞いて、自分のことのように悩み、アドバイスをくれる同友会の仲間、また「自己開示」の大切さを学びました。同友会の会合一つ一つで自身の成長に繋がる何かを常に模索していく山口氏の熱く涙しながら発表する姿に心を打たれる素晴らしい報告でした。

グループワークのテーマは「あなたの欲はなんですか？」として、自身自社の欲を話し、『自己開示』できる関係性を少しでも作る内容での討論でした。自分の欲望よりも他者が幸せであれば自分が幸せ。同友会での活動を機に夢を掴もうとする話。自社の売上目標を大きくもつ方。さまざまな欲望のお話を聞いていく中で、自身も大きく夢や希望を持ち、前進していきたいと感じました。

私は「自己開示」は苦手です。しかし、これからは何かあれば「自己開示」をしていく努力をし、自社を大きく、また必要とされる会社にしていきたいと強く感じました。山口氏が発表されたように、同友会を使い、視野を広げていき、価値がある人生にしていきたいです。

10月例会に参加した会員全員が、大きな理想や夢を叶えられるよう、また現在の悩みを一人で抱えこまず「自己開示していただけることを切に願います。

(株) 藤原商店 藤原 明



議長：花本副支部長

■ 開会挨拶（岩田副支部長）

※岩田副支部長より、開会挨拶がありました。内容は省略します。

■ 確認・報告事項

- ※今後の支部例会の準備状況について報告しました。
- ※11月支部例会は、11/19（火）に開催します。報告者は（有）共楽堂 芝伐 敏宏氏（三原支部）です。
- ※12月支部例会は、12/19（木）に松翠園で開催します。報告者は、（南浦島川口）氏です。テーマは「経営者の幸福とは」です。来年につながる支部例会にします。報告後の懇親会は席を決めます。グループに入る理事の方は聞き役になり、みんなの幸福は何か、聞き出してください。川口氏との打ち合わせでは、わくわくしながら経営していることが伝わってきました。当日の集合は18時。テーブルや音響など食事や飲み物を搬入します。会場設営は全て人力にたよることになるため、ぜひご協力をお願いします。
- ※1月支部例会（新年互礼会）は、1/17（金）にグリーンヒルホテル尾道で開催します。報告者は（関ヴィ・クルー 佐藤 全（あきら）氏（宮城同友会、前中同協共同求人委員長）です。テーマは「未来を変える企業・地域づくり ～ビジョンを掲げ、今こそ実践者へ！～（仮）」として準備を進めています。

■ 県理事会の報告（立石支部長）

※報告のポイントは以下。詳細は省略。詳しくは事務局にお尋ねください。県理事会は事務局の在り方について討議しました。役員と事務局はお互いに無駄なことはせず協力しあうことを確認しました。事務局にも局内の情報共有不足など反省すべきことはありますし、県理事と事務局が一緒になって若い事務局員を育てていこうと意見交換しました。

■ その他

※2024 役員オリエンテーションの参加呼掛けが新谷担当理事からありました。

■ 討議事項

テーマ：中期ビジョン策定と推進に向けて

※山根副支部長から、中期ビジョンは見直す時期になりました。現在の中期ビジョンを読んだことのある方はいますか？同友会は不離一体といいます。同友会で学んだことを自社に取り入れることで、会社がよくなっていきます。自社にも中期ビジョンがあると思います。どうやって社内に浸透させていますか？経営者一人で作ったビジョンはなかなか浸透しないと思います。同友会も同じです。私たちは自社をよくするために同友会をしているはずなので、同友会の中期ビジョンをまず理事である我々が理解を深めましょう。と投げかけがありました。

その後、尾道支部の現在の中期ビジョンを読み合せを行い、グループに分かれて意見交換を行いました。

まともは山根副支部長が、意見交換してわかったと思います。私もですが、案外皆、中期ビジョンをしっかりと読み込んでいないですね。じゃあどうやって新しい中期ビジョンを作りこんで、会内に浸透させるのか。中本理事がつくれば、次の中期ビジョンは、良い中期ビジョンができると思います。でもそれでは会内に浸透しません。今回は、ここにいる理事が中期ビジョンを自分落とし込み、みんなで次の中期ビジョンをつくる第一歩です。自社では社員とビジョンをつくり、浸透させ、自社を良くしましょう。そういう会社が増えると地域は良くなっていくと思います。

※中本理事作成の素案が山根副支部長から読み上げられました。素案は正副支部長と中本理事で再度検討します。支部理事の方へは、素案の読み込みをお願いします。それは自社のために同友会をしているからです。同友会でも自社でもビジョンを語る存在になりましょう。一番学んだと言える支部理事になっていきましょう。この読み合わせは今後も続けます。としました。

■ 委員会・部会の報告

- ※各委員会・部会より報告がありました。
 - ※経営労働委員会（高重委員長）
 - ・12/9（月）に「自社の損益分岐利益額を把握しよう」のテーマで勉強会を開催します。報告者は前回に続き、（関）村上製作所の村上氏です。
 - ※求人社員教育委員会（勝原委員長）
 - ・いよいよ Jobway2026 と、新しい取り組みであるジョブケンがはじまります。
 - ・尾道支部の求人社員教育委員会として Jobway に関するアンケートを作りました。回答を集め県委員会に届けたいと思います。回答へのご協力をお願いします。
 - ※中期ビジョン（中本担当理事）
 - ・次期中期ビジョンは正副支部長とも意見交換するなかで県の第8次中期ビジョンをもとに策定する方向で準備を進めています。
- 中期ビジョンの策定の進め方が了解されました。

■ 増強の情報交換（正副・委員長・部会長）

※各委員会・部会より、入会候補者や退会希望者の情報を共有しました。

■ 承認事項

1. 入退会の承認（九十九組織総務委員長）

今年度目標会員数	現在会員数
130名 年度未まで	125名
【入退会のお知らせ】	
入会希望者1名	
・介不動産 代表 倉谷 幸宏氏	
※2024年11月6日現在 会員数は125名です。	

■ 閉会挨拶（新谷理事）

※内容は省略します。

■ 次回の理事会

12月4日（水）19:00～ 会場：工房おのみち帆布

組織総務委員会

- 日時：12月日（）
- 会場：
- 内容：仲間づくりの進捗

広報委員会

- 日時：12月16日（月）
- 会場：
- 内容：でべらミーティング

経営労働委員会

- 日時：12月9日（月）19:00～21:00
- 会場：工房おのみち帆布
- 内容：自社の損益分岐粗利益額を把握しよう
- 報告者：(株)村上製作所 村上 令一 氏

求人社員教育委員会

- 日時：12月日（）
- 会場：
- 内容：11月支部例会のふりかえり

政策環境委員会

- 日時：12月日（）
- 会場：
- 内容：

青年部会

- 日時：12月17日（火）
- 会場：
- 報告者：(株)ハイマート 佐藤 敬祐 氏
- 内容：体験報告

女性部会

- 日時：12月日（）
- 会場：
- 内容：
- 講師：

支部理事会

- 日時：12月4日（水）19:00～20:30
- 会場：工房おのみち帆布

12月支部例会

「社長業の幸福感とは何か？」

- 日時：12月19日（木）19:00～21:30
- 会場：松翠園大広間
- 忘年会費：調整中（5,000円～6,000円の見込み）
- 報告者：(有)浦島 代表取締役 川口 新太郎 氏
- タイトル

「やりたいこと盛りだくさん、そして、必ず実践、川口流経営をちょっとだけ話します。」

スケジュール

2024年12月				2025年1月							
4	9	16	17	19	27	8	9	17	18	20	24
支部理事会 経営労働委員会		広報委員会 青年部会		支部例会 経営労働委員会		支部理事会 経営労働委員会		支部例会 (新年互礼会) 青年部会		広報委員会 経営労働委員会	

一般社団法人

広島県中小企業家同友会尾道支部 発行

事務局：〒720-0066 福山市三之丸8-16 福山ニューキャッスルホテルB1F

T E L : 084-923-0286

F A X : 084-923-0284

e-mail : fukuyama@hiroshima.doyu.jp

【発行責任者】立石 良典

【広報委員長】高垣 将一



支部例会のチェックや
参加可否のご連絡は
e-doyuのスマホ版が便利!



QRコードから簡単ログイン!